

述 懐

谷川 雅邦

人は、ひょんな事で、右脳が刺激されるものだ。目が覚めて、新しい朝を迎える度に見渡す辺りの景色の変化に気づき、新鮮な自然の美しさに魅了されてしまう事がある。

足早に過ぎゆく時の流れの中で、ふと、我に返ると、新緑の息吹と季節に香る美しい花たちに囲まれ気がつけば、いつからか自然の虜になっていく自分がそこにいた。

それというのも、家族で奈良に移住した事が、そのきっかけとなったといっても過言ではないだろう。思い起こせば、私が、奈良・人と自然の会に出会ったのは、何と17年前の出来事だったとは、一部の人を除き、殆ど、当会々員の誰しもが知るよしもないだろう。

他方、紆余曲折の人生を歩む中で、偶然に出会った事も、これもまた、事実である。そして、また自然に寄り添い、その優しさに触れたいと常日頃、小さな夢を心に抱いていた時期でもあった。しかし、当時は、私も、別の地域活動で多忙を極め、イベント以外には、ほぼ、当会への参画は不可能であった。

最近になって、幸か不幸か、コロナ禍のため、地域活動が半減されたのを機会に、余暇の時間を利用して、思い切って、果樹グループの一年生として参加する事にした。先頃は、桑の実やグミの実を収穫したが、そろそろ、梅の実の出



来具合も気になるところだが、今のところ、順調に生育しており、6月中頃から7月にかけて、立派な丸い大きな実を沢山つけるだろうと今から期待している。それが過ぎると、夏の終わり頃には橘、ブルーベリーなどが登場してくる。秋になれば、キウイ、栗やレモンなどが目白押しに続き、まさに華やかなイベント模様である。

果実に良い環境を維持、保護するため、並行して、鹿や鳥など小動物対策も怠りなく万全を期したい。季節の移り変わりに合わせて、種々の果樹が先を競って、その実をつけ出番を待っているのが嬉しい。折に触れ、香しい匂いがあたりに拡がって、ここには、働く者を楽しませてくれる空間がある。そして明るく、楽しい仲間が集う憩いの場でもある。努力して実を結ぶ収穫の喜びは、何事にも代え難い。暇をみつけて、是非、果樹スペースにコーヒーを飲み立ち寄ってみては如何かな？



何気ない、佇まいの中で、人と自然が融合し、一体化したならやまの素晴らしさに、この上ない充実感を感じているのは、ならやまで活動する仲間たちや、此处を訪れる人たちすべてが共有するものであろう。

これからも少しずつ、世のため、人のため、自分が出来る事を自然と共に歩み、自然を友として人生をより豊かなものにして、身体と時間の許す限り前を向いて、邁進して行きたいと思っている。